

この本よむぞう

みづきまちとしょかん ほん
水巻町図書館 子どもの本

こんげつ ねん がつごう
今日のおすすめ 2022年1月号



2022年が始まりましたね。今年の目標は決めたかな？

本はともだちになってくれます。今年も図書館でみなさんを待っていますよ。



「ほんやねこ」

The Bookstore Cat

いしかわ えりこ

《講談社》

ほんやのねこは、まどをしめわすれてさんぽにでかけました。すると、強い風がふいて、絵本の中の物語の人たちが外へとばされてしまい…。ピノキオ、シンデレラひめ、ラプンツェル…みんなはぶじに絵本の中に帰れるでしょうか？



「からっぽになった

キャンディのはこのおはなし」

おおくぼ うさぎ さく

大久保雨咲/作

てぐち かずみ/絵

《小峰書店》

あなたの家にははこがありますか？そのはこには何が入っていますか？これは、おかしやさんから来たはこの物語です。中のキャンディたちとお別れした後、どんなことが起こったのでしょうか？

「わたしたちの森」

ジアナ・マリノ/作

こてまり 鞠い/訳

《ポプラ社》



森は動物たちにとっての「家」。山火事によって森を追われた動物たちは、また森へもどり、新しい木々が育つのを待ちます。

気候変動によって増える森林火災についても考えさせられる絵本です。

「チョコレートタッチ」

パトリック・スキン・キャリング/作

さとうよしこ さく

佐藤淑子/訳

いづのかじ え

伊津野果地/絵

《文研出版》



ジョンはごはんをちゃんと食べず、おかしばかり食べています。中でもチョコレートは最高です。ある日、ジョンは拾ったコインでチョコレートを買い、食べてしまいました。すると次々にきみようなことが起こり始め…。楽しくてこわ〜いお話です。



「おてんばヨリーと

ひげおじさん」

アニ・M・G・シュミット/作

フィフ・ウェストンドルフ/絵

にしむら ゆみ さく

西村由美/訳

《岩波書店》

新型車両が初めて走る日、大臣や大統領までがお祝いに乗り込んで大にぎわい。ところが、とんでもない事件が発覚！車掌のひげおじさんと女の子のヨリーがバイクで列車を追いかけます。ハラハラドキドキが止まらない、オランダのゆかいな物語です。



「理系脳をつくる

食べられる実験図鑑」

なかむらようこ ちよ

中村陽子/著

みやもとかずひろ かんしゅう

宮本一弘/監修

《主婦の友社》

実験室は台所。身近な材料を使ってふしぎな実験をした後は、おいしいおやつになりますよ。

カラフルラムネ、エアインチョコ、子どもビール…

さあ、台所へGO!